

10月6日　の海外相場								
COMEX/NYMEX (\$)		Gold (Dec)		Silver (Dec)		Platinum (Oct)		Palladium (Dec)
Open		4,169.4		60.700		1,710.3		1,171.0
High		4,198.9		62.400		1,753.7		1,192.0
Low		4,150.4		60.645		1,709.4		1,167.0
Settlement		4,156.8		61.300		1,723.7		1,178.0
Change		-5.5		0.885		23.7		5.8
EFP		25.00	30.00	¢ 28.00	¢ 35.00	10.00	16.00	3.00　8.00

Fixing Prices		
LBMA/LPPM Fixing (\$)	AM	PM
Gold	4,156.90	4,156.40
Silver	61.000	-
Platinum	1,713.90	1,701.35
Palladium	1,165.30	1,164.30

コメント

Precious Metal

金：小幅上昇　銀：小幅上昇　プラチナ：小幅下落　パラジウム：小幅下落

貴金属市場は小幅に反発した。米長期金利の上昇が一服したことやドル安が支援材料となり、金銀市場では買い戻しが優勢となった。一方で、米10年債利回りは5.27%、30年債利回りは5.65%と依然として2002年以来の高水準圏にあり、高金利環境そのものに大きな変化は見られていない。市場では12月の追加利上げ観測が引き続き意識されており、貴金属市場の上値を抑える要因となっている。原油市場はほぼ横ばいとなった。G7による戦略石油備蓄放出や中東からの供給回復期待が引き続き重しとなった一方、ホルムズ海峡周辺での攻撃や中東情勢を巡る不透明感が下値を支えた。WTI原油は89ドル台で取引を終えており、市場では供給改善期待と地政学リスクが綱引きする状況が続いている。原油価格の落ち着きやドル安を背景に反発したものの、本格的な上昇トレンドへ転換したとの見方は少なく、引き続き米金利動向が最大の焦点となっている。

FX

ドル円：上昇　ユーロドル：上昇

為替市場ではドル円が158円近辺でもみ合う展開となった。前日まで進んでいたユーロ売りが一服し、フランス財政を巡る過度な懸念が後退したことでドル指数は下落した。これを受けてドル円の上昇も一服し、158円近辺での推移となった。米国債市場では、原油価格の落ち着きや堅調な3年債入札、ベッセント米財務長官による財政健全化に関する発言などを受けて債券買いが入り、10年債利回りと30年債利回りはともに小幅低下した。ただし、市場では財政赤字問題や高金利環境の長期化に対する警戒感が根強く、金利低下は限定的となった。

ドル円：158.10　ユーロドル：1.1259

10月5日　週の経済指標一覧								
	10/05 (月)		10/06 (火)		10/07 (水)		10/08 (木)	
Americas	米・ISM非製造業景気指数 09月		米・貿易収支 08月		米・FOMC議事録 09月		米・ミシガン大学消費者信頼感指数(速報値) 10月	
	前	55.4　予　55.0	前	-886億ドル　予　-1020億ドル	前		前	48.1　予　47.7
	前		前		前		前	
	前		前		前		前	
	前		前		前		前	
	前		前		前		前	
	前		前		前		前	
APAC	前		前		前		前	
	前		前		前		前	
	前		前		前		前	
	前		前		前		前	
	前		前		前		前	
EMEA	前		前		前		前	
	前		前		前		前	
	前		前		前		前	
	前		前		前		前	

Source: みんかふ

COMEX/NYMEX 投機的建玉				
2026/9/22	Gold (Mil oz)	Silver (Mil oz)	Platinum (koz)	Palladium (koz)
Long	29.4	302.3	1,713.1	912.3
Short	5.0	107.5	866.2	1,396.6
Net	24.4	194.8	846.9	-484.3
Change	-1.2	-25.5	-158.5	-164.5

Source: CFTC

他社への転送・転用 堅くお断りいたします。

当資料は、信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保障するものではありません。当資料はお客様のお取引判断の参考となる情報提供を目的としており、弊社は、この情報の使用結果について一切責任を負いません。